

令和7年度第1回我孫子市総合教育会議 概要

■件名／令和7年度 第1回我孫子市総合教育会議

■日時／令和7年7月24日(木) 15:15～17:10

■場所／鳥の博物館

■出席者／星野市長、丸教育長、村松教育委員、新山教育委員、中村教育委員、横山教育委員、佐藤教育総務部長、菊地生涯学習部長、
山崎教育総務部次長、辻生涯学習部次長、(教委総務課)高橋課長、尾高課長補佐、(生涯学習課)齊藤課長、段林主幹、
(図書館)中山館長、(鳥の博物館)大山館長、木村館長補佐、
望月主任、脇水主任学芸員、染谷学芸員、(秘書広報課)安武課長、小原係長

■傍聴者／1名

■議題

1. 鳥の博物館の活用について

①電子顕微鏡の活用について

令和7年4月25日に医学生物学電子顕微鏡技術学会から寄贈された電子顕微鏡の活用について鳥の博物館学芸員より説明を行い、電子顕微鏡の実物を視察し、意見交換を行った。

(意見交換)

- 電子顕微鏡で見た写真はモノクロだが、カラーで見えるか。
- 細菌は光学顕微鏡で見えるが、ウイルスは電子顕微鏡でなければ見えないと聞いた。ウイルスを見てみたい。
- ウイルスの標本など、電子顕微鏡でなければ見られない標本があるとよいと思う。

②展示リニューアルについて

鳥の博物館の展示リニューアルについて、鳥の博物館館長より説明を行い、館内を視察し、意見交換を行った。

(意見交換)

- 博物館の規模からしても、2時間程あれば見学して回れると思っていたが、実際に視察してみると、展示の切り口が多様で情報量も多く、内容が充実しているので、半日くらいかけてじっくり見たいと感じた。
- ミュージアムショップに展示の解説本のようなものがあるとよいと思う。
- 子連れで来た親は、じっくり見学できないので、後でゆっくり見たり、調べたりできるように、図書館などにある関連本や図録の紹介があるとよいと思う。
- 企画展ごとに図録を作成してはどうか。
- 鳥の博物館は、小学生向きと思っていたが、幅広い年代で楽しめる施設だと感じた。
- 年代で興味や視点が変わるので、何度でも楽しめると感じた。
- QRコードを利用して、説明や鳴き声、映像をみられるなど解説があるとよいと思う。

以上